「南砺市文化芸術振興基本計画（素案）」に関する

パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方（回答）

　平成28年1月18日から2月6日まで実施した「南砺市文化芸術振興基本計画（素案）」の策定に関するパブリックコメントにおいて期間中に３件のご意見をいただきました。

ご意見と市の考え方は次のとおりです。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | ご意見 | 市の考え方（回答および対応） |
| 1 | ①　文化の概念は辞書で調べても定義付けすることは難しい。芸術は造形芸術(彫刻・絵画・建築など)、表情芸術(舞踏・演劇など)、音響芸術(音楽)、言語芸術(詩・俳句・短歌など)、また芸能として書道・花道・茶道。そして伝統文化として祭り、獅子舞、伝統工芸、食文化、となるが本計画では文化の範囲を図２で極めて限定している。 | ご指摘のとおり図２は皆様が文化・芸術という概念を用いられるものすべてを包括できるものではありませんでした。そこで図２を別添のように修正致しました。修正後の図では広い「文化芸術」という概念の中、本計画で扱う文化の範囲を２つの特性で分類しました。個人の趣味としての要素が強いものは本計画の対象から外すことと致します。ただし、創造性の強いもの」というカテゴリーでは音楽、演劇、絵画、舞踏といった非常に広い分野を包括しているものと考えております。 |
| ②　文化芸術の振興と担い手不足は別の次元の問題だ。この計画は改めて練り直してみるか、イベント担い手育成基本計画とするなど名称変更を求める。 | 確かに本計画では、担い手や後継者の育成・確保に主眼を置いております。文化や芸術の質そのものの維持、発展は大切です。しかし、文化芸術の担い手そのものが減少しており、祭りの維持や活動も危ぶまれる現状にあります。文化芸術の根底にある担い手不足の問題を抜きには文化芸術を振興させることはできません。よって本計画では担い手の確保を重視していきたいと考えております。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 2 | ①　「城端陶芸工房」が市の施設再編計画内で「短期の解体」となっていた。解体しないで欲しい。 | 本計画においては文化芸術振興が目的であり、施設そのものの解体・統合については、行革・施設再編課の担当するところですので記載することはできません。本課と致しましては、行革・施設再編課に牧様のご意見を伝え、協議する方向で調整します。　何卒ご理解いただき、本計画へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 |